

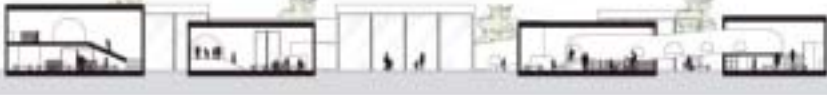
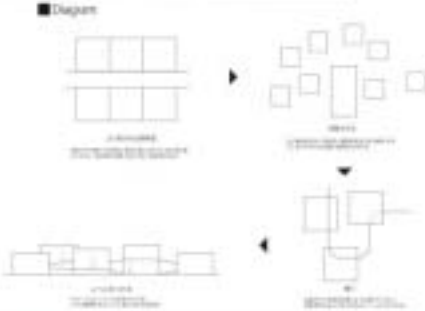


HUGE PLAY EQUIPMENT

石井 優也 (いしいゆうや)
東京電機大学 情報環境学部 情報環境学科



現在、子育て支援策や幼稚園、保育所の統合への動きなど保育への関心が高まっているように思える。一方で待機児童は増加傾向にあり、均一化された保育室はこどもで溢れる。敷地は千葉市中央区、海浜幕張公園の一部。60年代から70年代までに埋め立てられた場所であり、大型商業施設、オフィスビル群から高層マンションなどの住居地域を隔てるようにこの公園は計画された。本計画では、公園から派生した巨大遊具が保育室を貫くイメージで計画。ここでは、回遊同線、上下同線、明るい場所、暗い場所、大小さまざまなスケールに分けられた保育室、めまい体験などさまざまな要素を盛り込んだ。こどもは好きな場所、事を自分で選び、交流し過ぎてゆく。



現在、子育て支援策や幼稚園、保育所の統合への動きなど保育への関心が高まっているように思える。一方で待機児童は増加傾向にあり、均一化された保育室はこどもで溢れる。敷地は千葉市中央区、海浜幕張公園の一部。60年代から70年代までに埋め立てられた場所であり、大型商業施設、オフィスビル群から高層マンションなどの住居地域を隔てるようにこの公園は計画された。本計画では、公園から派生した巨大遊具が保育室を貫くイメージで計画。ここでは、回遊同線、上下同線、明るい場所、暗い場所、大小さまざまなスケールに分けられた保育室、めまい体験などさまざまな要素を盛り込んだ。こどもは好きな場所、事を自分で選び、交流し過ぎてゆく。



講評

現在、わが国において少子化・待機児童問題は、極めて切実な状況であるにも関わらず、政府の対応は一向に進まない。そんな中、幼保一体型の施設を都市公園の中につくるという計画。「駅前保育」ともいえる立地や環境条件から考えれば、都市においては現実的な提案になりうるかもしれない。おとぎ話の籠のようなうねる廊下が、アップダウンしながら各保育室や遊戯室を貫いていくという、子どもの遊び心を誘う面白いデザインだ。分散された各室が真四角でシンプルな箱であるために、自由にうねる廊下の効果が増幅されると同時に、随所に生まれる空間もまた魅力的だ。緑も豊かで、西洋式庭園のある公園に施設を計画するにあたり、既存の樹木や庭園デザイン、機能、軸線などを読み込み、公園と完全に融合した建築にまで昇華させることができれば、より社会性のある意義深い提案作品となっただろう。(審査委員：青井 俊季)